



山梨青年

春

YMCA NEWS

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。

～ペトロの手紙4章8節～

2023年4月28日 発行
公益財団法人山梨YMCA
〒400-0032
甲府市中央3-10-7
Tel.055-235-8543
fax.055-235-8553
www.yamanashiymca.org
発行人 / 中田純子



毎日がピンクシャツデー

地域コミュニティー事業ディレクター 福田奈里子

山梨YMCAでは毎年2月の最終週を「ピンクシャツウィーク」として、各事業所でいじめを考えるワークショップなど、さまざまな取り組みを行なっています。今年は児童発達支援事業（発達障がいなど、発達に課題を抱えた子どもたちの学童）に通っている子ども達の中から、「こうふしやくしょにいて、いじめをなくしましょうというよびかけをして、まちをパレードしたい」というアイデアが出ました。急な発案ではありましたが、急遽甲府市に打診させていただいたところ、数野保秋甲府市教育長自ら、子ども達のメッセージを受け取って下さる貴重な機会を作ってくださいました。その後のパレードでは甲府市中央商店街を歩き、ピンクシャツデーのポスターを配布し、「いじめをなくそう！」「No Bullying!」と日本語、英語で掛け声をかけながら町を歩きました。ともするといじめの対象になりやすい、障がいをもつ子ども自身から声があがり、その声を実現させることで「大人（社会）はわたしたちの声を聞いてくれる」「自ら声を上げることで、自分たちの権利は守られる」という「体験」を今回の市役所訪問とパレードで子どもたちは味

わうことができたのではないかと思います。また、「いじめ解決大作戦」BIG（Bullying Imagination Game）という、YMCA教育心理研究所スタッフが考案したオリジナルのワークショップも実施しました。いじめる人、いじめられる人、傍観者の3者が当事者となって表れる「いじめ」という現象について、それぞれの当事者の心の声を言語化しながら、最終的に「いじめ」をなくすためにできることを、自分たちのことばで出し合います。「だいじょうぶだよ、と声をかける」「深呼吸する」「大人に相談する」「YMCAに行く」（!）というアイデアが生まれていました。この間のスタッフとの対話が心に残ります。「ピンクシャツデーって、わざわざ言わなければいけないことですか？日々の保育実践が、ピンクシャツそのものだと思うけど。」そんな投げかけをするスタッフ、子ども達から上がった声をいち早く聞き取って「これは実現させなきゃ。」と言ったスタッフ（そこからの動きの速かったこと!）、そのような対話と実践を持ちながら、ピンクシャツに取り組める幸いを感じます。単なるイベントとして終わらせることなく、日々の生活が「ピンクシャツ」であることを子ども達が教えてくれます。

「山梨YMCA FOR ALLの実現」

山梨YMCAはこれまで「地域共生社会」「FORALL」「ケアコミュニティ」これらのキーワードをコンセプトに事業展開してきました。高齢者支援、乳幼児保育、児童発達支援、学童保育、外国籍市民支援等、地域と共に生きることを目的に進めてきた事業です。YMCAでは、この事業が互いに存在しながらも、共存共生していきける空間を提供することに意味があり、人の生涯に寄り添う為の事業展開することが重要となります。人の生涯とは「0歳から」ではなく「お母さんのお腹の中から」いや「男女の出会いから始まる」と考えると、途切れ目のない人の生涯に寄り添う事になります。

また、寄り添いとはひとりひとりがお互いに自分事として人に接し、自分が誰かに助けられていると感謝し喜び、人に優しくなれる事だと信じます。この当たり前の事があふれている日常こそが山梨YMCAの目指す寄り添いです。さらに、この寄り添いが誰もが自然にでき「隣人愛」に包まれた地域共生社会の実現を地域に発信していくことが、山梨の「FOR ALL」であると再確認します。総主事として歩を進めてきたこの1年、前総主事から引き継いだ、「山梨YMCA FOR ALL」の実現に向け新たな2023年に繋がることを祈り、歩を進めてまいります。



活動に休止府

ぶどうの木の開設は2013年の7月でした。多くの皆様のご協力とご支援がその活動を支えてくださいました。10年足らずのご利用者の総数は96名となります。その間、体調を崩した方は無く、おかげさまで救急車の要請は全延べ期間を通してありませんでした。一人ひとりを最後までお預かりしながら、ご自宅でご家族と共に穏やかに最期を迎えることが出来ましたことは、幸せなことだと思います。

高齢になり、足腰が弱くなっても、認知症があっても、病気があっても「ぶどうの木に行けば安心」とのご家族の思いがあり、またご利用者からは、「ここに来ることが出来て良かった」「今日一日楽しく過ごせた」「たくさん笑うことが出来た」「ありがとう」等の言葉や想いをたくさんいただき、職員は一人ひとりの、ご利用者の深い思いを日々のエネルギーとして、活動をしてきました。

もうすぐ100歳になられるあの方は、ぶどうの木利用は9年余り、元気に通ってきてくださいます。その間のご家族の愛情とお力添えは、何物にも代えがたいものだと思います。ご本人は豊かな言葉を職員に伝えてくださり、添える手に「ありがとう」「ああ、おいしい」など感謝の気持ちを届けてくださっています。

開設時から、ボランティア活動を支えてくださった方は20名いらっしゃいました。さらに、最後まで活動を続けてくださったのは8名の方々でした。皆様には、ご利用者の為に、食事の用意、おやつ準備、話し相手、レクリエーション活動など多岐にわたり支援していただきました。また、紅梅町の区長様はじめ地域の方々には、ぶどうの木を見守ってくださり、交流やお祭りのお誘いなど多くのご協力を頂きました。

職員は介護・理学療法士・看護職員と、最初からの勤務者もおります。また、ライセンス以外の得意技があり、楽しいゲームの作成、ちぎり絵や壁画作り、お菓子作りなど自然に得意技を発揮して、ご利用者の皆さんと楽しむことができました。職員が中心になり、ぶどうの木ギャラリーを作り上げ、絵画・書道・写真・パッチワークなど室内にいても季節を感じられる飾りつけを行って、楽しむことができました。節句、クリスマス、正月飾りは特に豪華でした。

ぶどうの木の閉所が決まり、10年足らずの活動に終止符が打たれることになりました。ぶどうの木の活動が、同じ事業所のオリーブの木に引き継がれ、継続することになりました。これまで多くの皆様のお支えがあり、安全で豊かな時間を過ごすことが出来ましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(鶴田 和子)



生涯学習事業部『清走中』

甲府市SDGs推進助成金 Y's × SDGsユースアクション助成事業

2022年12月24日（土）、ゲーム感覚ゴミ拾いイベント「清走中甲府編Vol.2」が開催されました。今回は「清走中」を全国展開する株式会社Gab様の協力のもと、山梨YMCAのユースリーダー会で企画運営しました。武田信玄公とともにサンタクロースが登場するなど、クリスマスならではの設定で実施、127名の参加者と共に合計110キロのゴミを収集できました。地元の商店街との協力、多国籍な運営ボランティア、清走中のアイテムに平和のテーマを盛り込むなど、YMCAらしさを生かした地域密着のイベントとなりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

（福田 奈里子）



チアダンススクール



2022年度から始まった鹿児島YMCAとリモートレッスンを始めた山梨チアダンススクール。ダンス経験のある学生スタッフも補助に入り、体の動かし方から始め、基礎から学んでいきました。夏には東山荘で鹿児島YMCAのチアダンススクールのメンバーと一緒に、1泊2日で合同合宿を行い、またひとまわり子どもたちの成長が感じられました。

チャリティーラン、チャリティーバザー、そしてクリスマス会での発表を重ね、2月にはUSA

Regionals 2023 静岡大会に出場。大舞台での堂々とした演技は、子どもたちの自信にも繋がったと思います。2023年度の活躍もお楽しみに！（仙洞田 結）



南西教室 インクルーシブ学童

南西教室では、学童保育と放課後等デイサービスの子どもたちが共に過ごすインクルーシブ学童に取り組んでいます。南西教室の目の前にある公園で、一緒に鬼ごっこやサッカー、そして子どもたち自身が遊びを創り出しながら、元気いっぱい遊び、時間を過ごしています。

また、長期休みでは放課後等デイサービスを利用する中高生が中心となり、プログラムの準備を長期休み前から取り組んでくれました。プログラム当日も中高生が中心となり前に出て説明をしたり小学生に指導してくれました。小学生が中高生に質問をしたり、お互いにとても良い関係を築けていると感じます。（久保川 美江）



山梨英和高校 グレイスコース×山梨YMCA

山梨YMCAでは、2021年4月にここに課題を抱える子どもたちに対応するため、「教育心理研究所」を設置しました。そこでは、公認心理師、臨床心理士等を配置して、教育相談などに対応しています。また、その取り組みの一環として、学校生活に苦戦している高校生に対するサポートプログラムとして「ココカラゼミ」を実施しています。2023年4月に、山梨英和高等学校に通信制「グレイスコース」が設置されたことを契機に、山梨YMCAとの連携が進められ、「ココカラゼミ」に参加することやYMCAでボランティア活動を行うことで、高校の単位を履修することができるようになりました。(土肥 満)

山梨YMCA行事予定

- 6月10日 (土) チャリティーラン
- 6月24日 (土) 山梨YMCA定期総会
- 11月3日 (金) チャリティーバザー
- 12月26日 (火) チャイルドケア事業部 合同クリスマス会



山梨YMCA 教養教室&アフタースクールレッスン

生涯学習事業部では、子どもや大人を対象としたさまざまな習いごとのプログラムがあります。書真会の師範による書道教室や、50年以上続く伝統ある音楽教室、美しい立ち振る舞いと芸術性を身につけるバレエは、YMCAの中でも長年続く子ども向けプログラムで、近年は天皇杯優勝チームのヴァンフォーレ甲府のコーチによるサッカースクール、鹿児島YMCAによるオンラインレッスンで受講するチアダンスなど、バラエティーに富んださまざまなクラスがあります。また英会話教室では、子どもから大人まで豊かなコミュニケーションスキルを身につけることを目的に毎日楽しいレッスンが繰り広げられています。見学は随時受付中！奮ってご参加ください。(福田 奈里子)

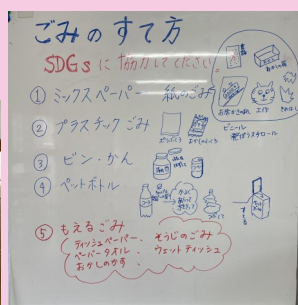
Connect with our future

表紙の写真から



ごみの分別

南西望みの家では、子どもたちに「ごみの分別」の大切さを伝え、ごみの分別の徹底を行っています。子どもたちと一緒に「これはプラスチックごみ？」と確認しながら日々行っています。私たち、そして子どもたちの未来・環境を守ることにつながりますように。



子どもたちの願いが叶えられ、甲府の街中でパレードを行ったこと、このアクションはとても尊いことだと感じます。毎日がピンクシャツデーだということを心に留めて、日々を子どもたちと一緒に歩んでいきたいです。(風間 奈月)